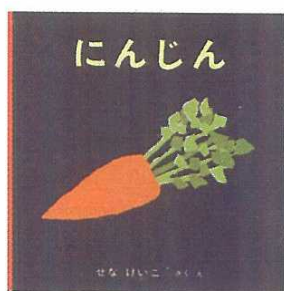


「たべもの」



●『にんじん』 〈いやだいやだの絵本〉

せな けいこ／さく・え 福音館書店

「にんじんの すきなこ だあれ」 うまやきりん
うさぎ、ぞうも、みんなやってきました。



●『くだもの』 〈福音館の幼児絵本〉

平山 和子／さく 福音館書店

すいかをきって「さあどうぞ」
もものかわをむいて「さあどうぞ」。

「いろ・かたち・おと」



●『ころころころ』 〈幼児絵本シリーズ〉

元永 定正／さく 福音館書店

ちいさなたまが、ころころころとこがります。
かいだんをころころ、でこぼこみちをころころ。



●『なにいろ?』

〈くもんのはじめてのえほん②〉

本信 公久／作 くもん出版

あかいトマト、あおいふうせん
きいろいちょうちょなど
ぜんぶで 10 のいろがせいぞろい。

3 本の造り

「扱いやすい」

子どもが扱いやすい大きさや重さであることも楽しめる要素です。まず、幼い子どもが持ったり抱えたりしやすい大きさで、めくるのにつまみやすい厚さ、軽めの造り、ひっぱっても簡単にはやぶれない用紙がよいでしょう。本は何度も開閉するので、綴じの部分がしっかりしていることも必要です。

「安全性」

本を投げたり、ふりまわしたりして、本のカドを自分自身にぶつけてケガをすることもあります。用紙が薄くて手を切ることもあります。厚手の用紙、または布のように柔らかい用紙で、本のカドが丸く、汚れがふきとれるようにコーティングがしてあると安心です。

